

U16c ビッグバンの以前、ヒッグス粒子は存在できたか。

小堀しづ

ヒッグス粒子は高エネルギー加速器の中で、電磁気2個の粒子です。このエネルギーは、dクオーク、 $-1/3$ で5.7MeVの場合、クオークは 6.247×10^8 個の電磁気で、 $5.7\text{MeV} = 9.131 \times 10^{-13}\text{J}$ です。1個の電磁気のエネルギーは $1.462 \times 10^{-21}\text{J}$ です。2個の電磁気は $2 \times 1.462 \times 10^{-21}\text{J} = 2.924 \times 10^{-21}\text{J}$ です。ヒッグス粒子は $2.922 \times 10^{-21}\text{J}$ です。ビッグバンの以前の宇宙で、放出した電磁気1個のエネルギーは $3.769 \times 10^{-21}\text{J}$ です。ヒッグス粒子はこれより小さなエネルギーなので、存在しません。ヒッグス粒子はビッグバンの以前の宇宙には存在しません。故に、存在しないヒッグス粒子は電磁気に質量を与える事は無いです。電磁気は質量を持つものです。E=mc²の意味は、エネルギーは電磁気の質量である。電磁気にはエネルギーが有り、質量が有るという事です。2個の電磁気であるヒッグス粒子は1個の電磁気に質量を与える事はできない。ビッグバンの以前ヒッグス粒子は存在しなかった。